

科目（講座名）		古典B	3単位	学校必履修
教科書	古典B改訂版【古文編】【漢文編】（大修館書店）		担当教諭	
副教材	古典文法完全マスターノート・助動詞編（第一学習社） 古典文法完全マスターノート 準拠ノート 基礎養成（第一学習社） マスター古典1（京都書房書籍）			

学習の目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

授業内容

- ・古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。
- ・古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。
- ・古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。
- ・古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察する。
- ・古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深める。

学習方法

- ・予習では分からない語句の意味や読みを調べ、現代語訳をして作品の概略をとらえておく。
- ・古典を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりする
- ・授業の内容をまとめたノートを作り、復習する。

評価の観点

関心・意欲・態度	古典やその時代の文化に対する関心を深め、古典を進んで理解する。調べ学習に積極的に取り組む。
話す・聞く能力	自分の考えを論理的に話し、的確に聞き取る。発表において、聞き手にわかりやすく発表したり、人の発表を聞いて的確に整理したりできる。
書く能力	自分の考えを、相手や目的に応じ、わかりやすく筋道を立てて話せる。また、適切に文章に書き、ノートにまとめることができる。
読む能力	先入観を持たずに様々な分野の文章を的確に読み取り、理解することができる。
知識・理解	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付ける。漢字検定の三級から二級程度の力を身につける。

評価方法

定期考査、課題テスト、提出物、小テスト、出席状況・学習態度などをもとに総合的に判断し、評価する。漢字に関しては、到達度を重要視する。

年間計画

学期	月	配当 時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4	2 6	説話	十訓抄「大江山」	○用言や助動詞の活用・助詞の働きについて理解する。また、これらの品詞に留意して現代語訳する。 ○基本的な和歌の修辞法について理解するとともに、敬意の方向を含めた敬語についての理解を深める。 ○物語の文学史的背景・登場人物および場面の正確な把握をしながら、古文常識や和歌の修辞法について理解を深める。 ○故事成語の意味について理解させた上で、話の内容に理解を深める。 ○漢文の基本句法について理解する。
	5		物語	伊勢物語「初冠」	
	6		物語	(中間考査)	
				伊勢物語「月やあらぬ」	
				「知音」「漱石枕流」 「画竜点睛」	
7	故事	更級日記 「あこがれ」			
			日記	(期末考査)	
2	9	2 8	随筆	方丈記「安元の大火」	○随筆の特徴を踏まえながら、筆者の考えを的確に把握する。 ○本文に用いられた対比表現などの表現技法についての理解を深める。 ○敬語表現や古文常識などに注意し、作品の時代背景を踏まえながら場面ごとに本文の内容に理解を深める。 ○『源氏物語』を含む物語文学の文学史の流れを理解する。 ○使役・疑問・反語・受身・否定・抑揚の句法について理解する。 ○登場人物を整理しながら、本文の展開を正確に理解する。 ○性善説と性悪説それぞれの論理展開を正確に理解する。 ○諸子百家の思想について、時代背景を踏まえながら理解する。
	10		随筆	枕草子「中納言参り給ひて」	
			物語	源氏物語「桐壺」	
			(中間考査)		
	11		物語	源氏物語「若紫」	
			史伝	史記 「鴻門の会」 「項王の最期」 (期末考査)	
	12		思想	孟子「不忍人之心」 荀子「人之性悪」	
3	1	1 6	物語	大鏡「雲林院の菩提講」 「競べ弓」	○『大鏡』における語り手の存在についてふまえた上で、物語の展開を正確に理解する。 ○敬語表現・助詞・助動詞に注意しながら、正確な現代語訳ができる。 ○古文常識について理解を深める。 ○登場人物それぞれの考え方を把握し、その違いについて考える。 ○文中の歌謡の意味について考えさせ、文章全体の構成を理解する。
2	文章		「桃花源記」 「捕蛇者説」		
3			(学年末考査)		